



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

# 一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「We Serve (われわれは奉仕する)」

一宮LCスローガン 『 奉仕の輪 明るい未来へ ウィ・サーブ 』

第1615回例会

2024~2025

No. 6

## 例会プログラム

と き 2024年9月25日(水)12:15  
ところ 一宮商工会議所ビル3F 大ホール  
例会担当 青少年教育委員会

- 開会のゴング
- 国旗に礼
- 国歌「君が代」斉唱
- 「ライオンズ・ヒム」斉唱
- 「ライオンズの誓い」唱和
- 「クラブスローガン」唱和
- 会長挨拶
- お誕生日お祝い
- 各委員会報告
- 幹事報告
- 会員スピーカーの時間
- アテンダンス報告
- テールツイスター報告
- 「また会う日まで」斉唱
- ライオンズ・ローア
- 閉会のゴング

## 次の理事会 (第7回)

と き 2024年10月9日(水)11:00  
ところ なかなか室家

## 次の例会 (第1616回)

と き 2024年10月9日(水)12:15  
ところ なかなか室家



## 会員スピーチ

LCIF国際関係委員長

L 酒 井 是 和

「テーマ」

「クラブシェアリングについて」

令和6年7月29日(月)鯉城ホールにて愛知県献血運動推進大会において愛知県知事感謝状をいただきました。



## ★9月お誕生日おめでとうございます！

- 9月4日 L 国 本 実
- 5日 L 佐藤 淳
- 5日 L 村 平 進
- 7日 L 松下 洋 祐
- 10日 L 矢田 賀 也
- 25日 L 則竹 保 利
- 28日 L 豊島 裕 康
- 30日 L 服部 充 男



## 第 5 回理事会報告

と き 2024 年 9 月 10 日(火) 13:30

と ころ 一宮商工会議所ビル 402

出席者

L 野寄 L 吉江 L 高橋敬 L 水野 L 野村政  
L 矢田 L 大山 L 石黒 L 中川 L 飯盛  
L 尾上 L 豊島 L 坂井田 L 古川 L 佐藤彰  
L 酒井 L 大島基

議題

### 1. 献血奉仕例会(8/28) 決算報告

保健委員長 L 大島基睦

台風 10 号により事業が危ぶまれましたが、無事献血例会を行うことができました。

献血登録 232 人・採血者 187 人・不適者 45 人・献血受付者総数 21,884 人となり、決算報告理事会にて承認されました。

### 2. 献血慰労会(8/28) 決算報告

親睦委員長 L 尾上直正

おおやま本店にて、42 名の参加があり盛大に盛り上がりしました。

本来、登録料 6000 円×42 名=252,000 円以上の支払いに対し、親睦会費より支出されますが、L 大山の計らいにより、支出は 0 円となりました。

決算報告理事会にて承認されました。

### 3. 第 61 回東洋・東南アジア・フォーラム(11/14~17)登録料について

一宮 LC 内規に則り、この度参加される方の登録費を緊急援助資金より支出することを理事会にて承認されました。

### 4. その他

・第 25 回一宮ティーボール大会(9/14) について  
豊島委員長より案内がありました。

・薬物乱用防止キャンペーン(10/8) について  
古川委員長より案内がありました。

・ごみゼロ運動西尾長中央道クリーン大作戦(10/12) について  
坂井田委員長より案内がありました。

#### ・一宮 LC 支店立ち上げ件

野寄会長より、本年度支店立ち上げを念頭におき、皆様の意見を聞きながら委員会を立ち上げ、まず、次回の理事会より、始めさせていただくと報告がありました。

## 第 1614 回例会報告

と き 2024 年 9 月 11 日(水) 15:15

と ころ 豊田合成記念体育館 ENTRIO



334-A 地区柴田高志ガバナー3R1Z・2Z 合同公式訪問例会が豊田合成記念体育館 ENTRIO コンベンションホールにて開催され、1Z 7クラブと2Z 5クラブの計 12クラブの会員が参加されました。今年度のホストクラブは当クラブで、副ホストクラブに海部 LC が担当しました。

合同例会前にアトラクションとして、ピアノとフル



ート演奏が 15 分程あり、演奏に耳を傾けました。

続いて、1Z ZC L 佐藤彰の先導にて、334-A 地区ガバナー L 柴田高志、第 1 副地区ガバナー L 速水清郎、第 2 副地区ガバナー L 中村宗雄、地区名誉顧問・元地区ガバナー L 大山恭範、2Z・ZC L 安藤徹が入場

されました。ひな壇に 1Z・2Z の 12 クラブ会長とキャビネット役員がならび、リジョン役員と 1Z・2Z の幹事、会計は会場内の最前列に座られました。

一宮 LC 野寄会長の開会の辞並びに開会のゴング、で始まり、一宮サウス LC 森山会長が「ライオンズの誓い」を唱和されました。各役員、参加クラブの紹介後、ガバナー歓迎のあいさつを 1Z ZC L 佐藤彰がされ、地区ガバナー L 柴田高志のご挨拶と続きました。

地区ガバナーより基本方針を話され、地区スローガン【ありがとう！ We serve】地区ガバナーキーワード【一人一人の輝きで築こう未来を】の説明を丁寧に行われました。

新会員の紹介では当クラブより L 村平進、L 永井映子、L 西川博のお名前がご紹介されました。





アテンダンス報告、また会う日までの斉唱、ライオンズ・ローアと進み、最後に海部LC山田会長による閉会の辞並びにゴングにて例会は終了となりました。

その後、懇談会、懇親会があり、リジョン役員と三役が出席し、開催されました。

マーケティング委員長  
飯盛剛弘



## 第25回一宮ティーボール大会

と き 2024年9月14日・21日(土) 12:15

ところ 平島公園野球場(一宮市営球場)



今年も一宮ライオンズクラブ主催の第25回一宮ティーボール大会が平島公園野球場にて開催されました。

開会式と予選第1日目が、9/14(土) 9時から開催され、優勝旗の返還、野埼会長から一宮軟式野球連盟会長 鳥越豊様へ目録を贈呈、野埼会長より主催挨拶、一宮市市長 中野正康様よりご祝辞をいただき、代表選手の選手宣誓が行われ、開会式が終了しました。

試打式には野埼会長、高橋第一副会長が参加され、野埼会長の場外ホームランで子供たちを大いに沸かせました。その後、小学4年生以下の子供たちとそのお母様も含めた1チーム15名、32チームによる予選が開始されました。天候にも恵まれ、秋晴れの中、母と子が一緒に参加するティーボール大会は大変盛り上がりおりました。

9/21(土)の決勝日は暑さも和らぐ曇り空のもと、大きな声援が飛び交う中、点を取り合う激戦が繰り広げられました。激戦を制したのは末広チームでした!閉会式では、野埼会長より賞状と優勝旗・楯が贈られ、一宮軟式野球連盟、中日新聞社よりそれぞれ表彰があり、野埼会長と高橋第一副会長らより1位から3位の選手達へメダルが授与され、高橋第一副会長より主催者謝辞ののち閉会となりました。

母と子の笑顔あふれる素晴らしいアクティビティでした。会長をはじめメンバーの皆様ご協力ありがとうございました。

青少年教育委員長 豊島裕康

《参加者》

L 野埼・L 水野・L 青木・L 飯盛・L 井尾・L 石黒・  
L 岡本・L 久保・L 酒井・L 佐藤彰・L 高橋敬・  
L 豊島・L 野村政・L 則竹保・L 古川・L 山田・  
L 森川・L 吉江



### 第1614回例会アテンダンス報告

会員数 264名

正会員 109名 賛助会員 12名

特典会員 143名

例会出席対象会員数 121名

出席者 42名 (メイク・アップ 0名)

出席率 35%

2025~2026

### 夏期YCE派遣予備申込募集

年齢: 17~21歳

申込: YCE 委員長 L 酒井是和

又は事務局まで



派遣先: イタリア、ドイツ

ベルギー、エストニア、マレーシア

締切り 10月21日(月)

★レポート提出・面接必須

★英検2級以上または派遣先国語堪能な方

★帰国後YCEOB会でYCE事業に協力できる方

★ノンライオンの子弟歓迎

# 活動するライオンズ

## より良い治療環境のため小児腫瘍病棟の施設を改修

### イタリア

イタリア・トリノにあるレジーナマルゲリータ小児病院の小児腫瘍(しゅよう)病棟は、50年以上にわたって重い病気の子もたちに治療を提供してきた。この病棟には1989年以来、小さな命を救ってきた造血幹細胞移植部門がある。移植は、白血病、骨髄腫、リンパ腫などの特定の種類のがんの治療に用いられる。この病院では、毎年150人を超える小児患者が腫瘍科に紹介され、約30件の造血幹細胞移植が行われている。



移植を受ける子どもたちがたどるのは、厳しく、気が遠くなるような道のりだ。感染症に対して無防備な状態にある子どもたちは、身を守るために30~40日間隔離される。付き添いが許されるのは大人1人のみで、その他の人は通路の窓越しに音声通信システムを使って面会することが出来る。これは、隔離中に子どもたちが学校の授業を受ける方法にもなる。

最近まで、レジーナマルゲリータ小児病院の通信システムは時代遅れで頻繁に停止し、プライバシーもほとんどなかったため、訪問者の受け入れや教育指導を行うのが困難だった。更に、面会用通路は締め切った空間のため、直射日光が当たると熱がこもり、非常に居心地の悪い状態になることがあった。改善が必要だと認識した108-IA3地区のライオンズは、移植を受ける勇敢な子どもたちとその家族にとってより良い場をつくろうと、訪問者スペースをアップグレードすることを決定した。

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)はこのプロジェクトを実現するために、2万1659ドルの小児がん補助金と3000ドルの地区およびクラブシェアリング交付金(DCG)を地区に提供。地区内の15を超えるクラブがプロジェクトのために総額1万3000ドルの資金集めに参加し、地区は小児腫瘍病棟への継続的な支援を約束した。

訪問者スペースをより快適な場所にするを目的としたこのプロジェクトには、五つある面会スペースのそれぞれに最新のインターホンを設置し、コミュニケーションとプライバシーを強化することも含まれていた。更に、熱を防ぐために窓に日射保護フィルムを貼り、訪問者用の飲料を保管するために冷蔵庫を購入した。

ある親は、このスペースが闘病中の娘にもたらした変化について次のように述べている。「娘は、治療中は学校の授業に出席出来なくなると悲しんでいましたが、医師から隔離ギャラリーでも授業を受けられると聞いて安心しました。また、ガラス張りの空間と音声通信システムのおかげで、彼女は兄や祖父母、親しい友人たちと面会することが出来ました」

患者、家族、友人、教育者を含む年間約180人が、この施設改修の恩恵を受けることになる。ライオンズとレオが思いやりを持って行動を起こす時、LCIFは交付金の提供を通じてその取り組みを前進させ、世界中でより多くの人にライオンズの奉仕による恩恵が届けられるようにする。

